

元戦車中隊長の模型部屋 第18回

皆さん、こんにちは。この夏のお休みは皆様いかがお過ごしでしたか？酷暑日が続き、コロナ感染防止の為、せっかくの休みも遠出する心境にもなれず、中途半端な気持ちで悶々としていた方も多いのでは？私も仕方ないので娘達とステイホームしてました。たまにショッピングに出かけたりしましたが、私にはプラモがあります！インドア生活万歳！なんか毎年こんな事言っているような気がしますね。さて、今回は・・・



水陸両用車AAV7です。

以前「高田援護室長の模型部屋」の最終回で同車両の作例を紹介しましたが、今回は水陸機動団に配備された陸自2色迷彩の車両を作りました。やはり陸自車両はこの2色迷彩じゃなきゃ（笑）

最近ではテレビで自衛隊大好き芸能人のカズレーザーさんを乗せてその走行性能を紹介していました。私もその番組を観ながら「すっげー！」と感動し、これはさっそく作らねばとAFVクラブのキットをベースに他の自衛隊車両の余りパーツやプラ板を使用して改造を施しそれらしく作り上げました（笑）履帯もAFVクラブの組み立て式履帯に変更し、なんだかんだでよいお値段の車両に・・・



前回のAAV7増加装甲を取り付けた状態で製作しようかと思ったのですが、訓練中の写真を見ると取り外した状態の方が多くのようなのでそちらにしました。2色迷彩もはっきり見えますしね。



側面の四角の突起物は増加装甲等を取り付けるための受け金具です。車体前側部の方向指示器取付用ブラケットは再現されてなかったのでプラ板でそれらしく作成しました。



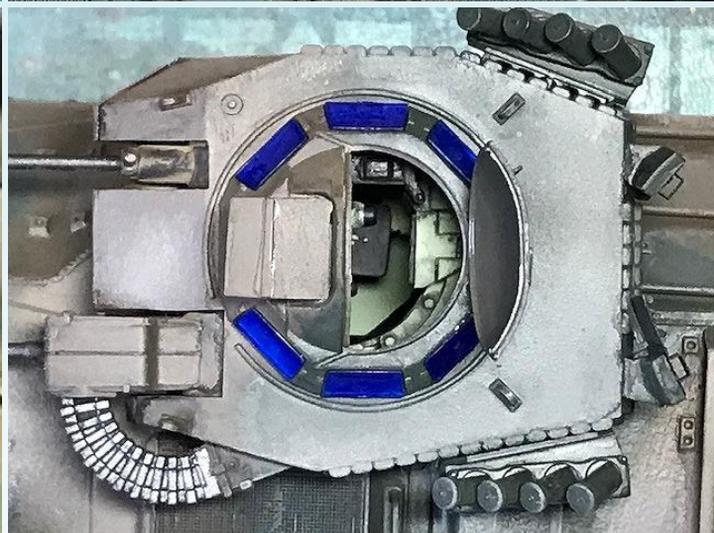
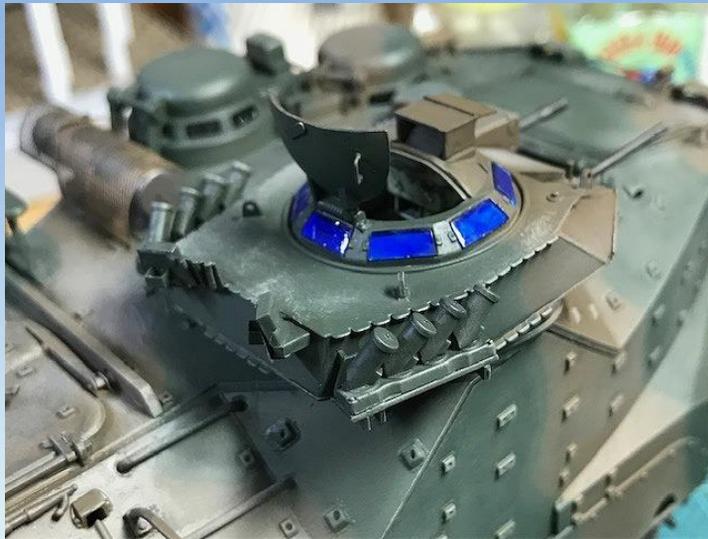
車体後部の無線アンテナ基部は、ミリタリー雑誌「JGROUND」に掲載されていた写真を参考に、プラ板や他の自衛隊車両キット部品を使用して自作しました。省略しようかとも思いましたが、やはり通信は大事です。しっかりと作りました。



履帯は先述のAFVクラブの組み立て式履帯です。第13回で紹介した「M270 MLRS」にも使用していたものですが、今回はゴムパットを取り付けた状態で製作してみました。一枚一枚の組み立て作業・・・悟りが開けます（笑）でも、完成した時の充実感と精密感がたまりません！



排気マフラー後部に取り付けられたGPSアンテナとその基部はプラ板で完全自作しました。それらしく見ればよいのです（開き直り）



砲塔両側に取り付けられた「76mm発煙弾発射機」です。前は改造キットを購入して使用しましたが、我が家の防衛費節用のため今回は他のキットの余り部品を使用し、取り付け台座はプラ板で自作しました。多少の違いは許してください。



砲塔内部もキットにより再現されてます。今回はフィギュアは乗せてません。適当なフィギュアがなかったもので・・・また後日、乗せたら何かの形で紹介します。



車体はGS | クレオスの自衛隊車両色セットを使用しました。車体がデカイので、塗料の消費量が半端ないです。でも、出来上がった時のこの迫力！カッコいいです！



上段：車体側面の消火器操作レバーを自作。小さなところでもできる限り実車に近づけます。



左：潜望鏡に貼り付けたホログラムシートで実車のイメージに近づけてます。とは言いながら、改造しなければならないところがあって、操縦手・車長ハッチの形状なんかは少し違うんですね。本来ならば角が丸くなくて角ばっているのですが・・・でも、それを改造する技量もないので・・・今回は見送りました。多少の妥協をしないと完成しませんからね。



以前紹介した参考品として導入したタイプのAAV7と並べてみる。娘が「何で同じプラモデルを作ってるの？楽しい？」私が「ほら、こことそこあそこが違うじゃないか。」と熱く語ると「ああ、わかった。もういい。」うーん、漢のロマンが理解されないようです。

中隊本部こちら2小隊
〇〇海岸に上陸！



背景に前回使用した背景ボードを使用して上陸した光景を表現・したのですが
どうでしょうか（笑）

2小隊はキドセン（機動戦闘車）
の掩護下、△△町に進出する！



16式機動戦闘車の掩護のもと上陸するAAV7、妄想が広がります。ではまた
次回！